

令和8年度
広島市立美鈴が丘高等学校
教育課程
年間授業計画
－ シラバス －



第2学年

評価基準

1 観点別の評価点について

各学期とも、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価点の割合は1:1:1とする。

- (1) 学期によって評価点が異なってもよい。
- (2) 定期考査を行う科目は、1回の考査を100点で評価する。
- (3) 評価点の各学期の値については制限を設けない。
- (4) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価には定期考査を含めない。

2 第1～3回考査では、3つの観点それぞれについて、その達成度によりA、B、Cの3段階の評価を行う。また、3つの観点の評価点を合計し、その達成度によって10段階評価を決定する。

観点別（ABC）の評価の基準

評価	A	B	C
達成度	65%以上	40%以上65%未満	40%未満

10段階の評価の基準

評価	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
達成度	90%以上	80%以上	70%以上	65%以上	60%以上	50%以上	40%以上	30%以上	30%未満	

3 第4回考査では、3つの観点それぞれについて、年間の評価点合計による達成度によりA、B、Cの3段階の評価を行う。また、3つの観点の年間の評価点を合計し、その達成度によって5段階評定を決定する。

・ A、B、Cの評価の基準は第1～3回考査までと同じとする。

5段階評定の基準

評定	5	4	3	2	1
達成度	70%以上	60%以上	40%以上	30%以上	30%未満

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>○教科書 「精選 論理国語」(東京書籍)</p> <p>○副教材 「文学国語セレクション」(東京書籍)</p> <p>「入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700」(浜島書店)</p> <p>「四訂版 プロGRESS 現代文総演習 標準編」(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会において理解したり表現したりするために必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	「ミロのヴィーナス」 (副教材)「山月記」 「相手依存の自己規定」 (論理の力)3 要約する力、4 質問する力 (副教材)「檸檬」	・定期考査 ・小テスト 等	・定期考査 等	・問題集課題 ・授業態度 ・授業課題 等
	評価点	200点	200点	200点
後期	「『である』ことと『する』こと」 (副教材)「永訣の朝」 (副教材)「ころも」 「消費されるスポーツ」	・定期考査 ・小テスト 等	・定期考査 等	・問題集課題 ・授業態度 ・授業課題 等
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	「ミロのヴィーナス」→具体例に注目して筆者の主張を理解する。 (副教材)「山月記」→人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	6
	5	●第1回考査	6
	6		6
	7	「相手依存の自己規定」→具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。 (論理の力)3 要約する力、4 質問する力→論理的思考力や表現を学ぶ。	6
	8	(副教材)「檸檬」→登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	6
	9	●第2回考査	4
後期	10	「『である』ことと『する』こと」→例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。	6
	11	(副教材)「永訣の朝」→表現された内容を読み取り、筆者の妹への思いを解釈する。 ●第3回考査	6
	12		6
	1	(副教材)「こころ」→人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考える。 「消費されるスポーツ」→筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。	6
	2		6
	3	●第4回考査	6

5 その他

論理国語を学ぶにあたって

「論理国語」は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目的としています。互いの考えを尊重しながら、高め合う姿勢で授業に臨んでください。

○意味調べや本文読みなどの予習は主体的に取り組み、小テストの学習を行って授業に臨んでください。

○授業中は、積極的に授業に取り組み、与えられた課題に真摯に取り組んでください。

○授業の内容に関して疑問に思ったことは積極的に質問しましょう。授業時間以外に質問に来てもかまいません。

○学んだことを定着させるには、復習が肝要です。教科書やノート等で学習内容を整理・確認しましょう。

○課題の問題集は指示を守って真摯に取り組み、期限内に提出してください。未提出や不備のものは指導します。

○現代文を理解したり、話し合ったり、文章を書いたりするためには、歴史や社会についての知識・理解が不可欠です。日ごろから新聞や雑誌を読み、情報を収集・整理しておきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2 単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>○教科書「精選古典探究」(第一学習社)</p> <p>○副教材「完全傍訳やさしくくわしい古典文法 三訂版」(尚文出版)</p> <p>「記入してわかる やさしくくわしい古典文法ノート 修訂版」(尚文出版)</p> <p>「みるみる覚える古文単語 300+30 三訂版」(いっずな書店)</p> <p>「新版 古文助動詞・漢文句法マスターノート」(数研出版)</p> <p>「基礎から解釈へ漢文必携 五訂版」(大修館書店)</p> <p>「ニューフェイス古典1+」(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>(随筆)・「二月つごもりごろに」(『枕草子』)</p> <p>(名家の文章)・「雑説」(韓愈)</p> <p>(物語)・「光る君誕生」(『源氏物語』)</p> <p>(物語)・「若紫」(『源氏物語』)</p> <p>(項羽と劉邦)・「鴻門の会一剣の舞・樊噲、頭髮上指す」(『史記』)</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト 等</p>	<p>・定期考査 等</p>	<p>・問題集課題</p> <p>・授業態度</p> <p>・授業課題 等</p>
	評価点	200点	200点	200点

後期	(項羽と劉邦)・「四面楚歌一時利あらず・項王の最期」(『史記』) (日記)・「門出」「源氏の五十余巻」(『更級日記』) (物語)・「弓争ひ」(『大鏡』) (漢詩)・中国の詩 (和歌・俳諧)・古今和歌集・新古今和歌集	・定期考査 ・小テスト 等	・定期考査 等	・問題集課題 ・授業態度 ・授業課題 等
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	(随筆)・「二月つごもりごろに」(『枕草子』)→随筆を読み、そこに表れたものの見方や考え方を理解する。	6
	5	(名家の文章)・「雑説」(韓愈)→本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。	6
	6	●第1回考査	6
	7	(物語)・「光る君誕生」(『源氏物語』)→古典の物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	6
	8	(物語)・「若紫」(『源氏物語』)→古典の物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	6
	9	(項羽と劉邦)・「鴻門の会一剣の舞・樊噲、頭髮上指す」(『史記』)→史伝を読み、時代背景の概略や登場人物を整理する。	6
	9	●第2回考査	4
	10	(項羽と劉邦)・「四面楚歌一時利あらず・項王の最期」(『史記』)→追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。	6
	11	(日記)・「門出」「源氏の五十余巻」(『更級日記』)→晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。	6
後期	12	●第3回考査	6
	1	(物語)・「弓争ひ」(『大鏡』)→歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。	6
	2	(漢詩)・中国の詩→漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。	6
	3	(和歌・俳諧)・古今和歌集・新古今和歌集→我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、鑑賞する。	6
	3	●第4回考査	6

5 その他

「古典探究」を学習するにあたって

「古典探究」では、先人の残した文章を読み味わうことを通じて、古の考えや知恵を学びます。その事によって、今を生きる私達の生活や社会を見つめることもできますし、新たな発見もあるでしょう。現代語と異なるという理由で敬遠せず、先人たちの残した言葉に耳を傾けましょう。

○授業ではまず「自分が考える」姿勢で取り組んでください。そのためにも授業道具をすべてそろえて授業に臨むこと。

○グループワーク等を行う場合には、発言・傾聴を意識して積極的に参加してください。

○授業の内容に関して疑問に思ったことは積極的に質問しましょう。授業時間以外に質問に来てもかまいません。

○古典の理解には、単語・文法・古典常識の3つは欠かせません。単語や文法の力を小テストで身に付けましょう。

○課題の問題集は指示を守って真摯に取り組み、期限内に提出してください。未提出や不備のものは指導します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	3単位
		学年等	第2学年・人文社会系

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開にかかわる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	『詳説日本史探究』(山川出版)、『図説日本史通覧』(帝国書院) 『ステップアップ日本史』(啓隆社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開にかかわる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第1部 原始・古代の日本と東アジア〕 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成 第4章 古代の国家・社会の変容	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシート等の記述分析	・学習課題等 ・ワークシート等の記述分析

	評価点	150点	150点	150点
後期	第4章 古代の国家・社会の変容 〔第2部 中世の日本と世界〕	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家社会の展開 第3章 中世の国家・社会の変容	・ワークシートの記述分析	・ワークシートの記述分析	
	評価点	150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第I部 原始・古代〕 第1章 日本文化のあけぼの 探究活動1 歴史資料と原始・古代の展望	8
	5	第2章 古墳とヤマト政権	9
		第3章 律令国家の形成	10
	6	1 律令国家への道	第1回考査
		2 平城京の時代	
		3 律令国家の文化	
	7	◆----- 4 律令国家の変容	5
	8	第4章 貴族政治の展開	第2回考査
		1 摂関政治	
9	◆----- 2 国風文化	19	
後期	10	3 地方政治の展開と武士	5
	11	〔第II部 中世〕 第5章 院政と武士の躍進 探究活動2 歴史資料と中世の展望	22
		◆----- 第3回考査	
	12	◆----- 第6章 武家政権の成立	13
	1	◆----- 第7章 武家社会の成長	14
		◆----- 第4回考査	
		◆-----	
2			
3			

5 その他

- 歴史の学習は、暗記する(覚える)ことも必要ですが、それだけでは不十分です。大事なことは、資料から情報を読み取り、覚えた知識を用いて疑問を解決することです。
- まずは教科書をよく読み、授業に臨み、問いをしっかりと持ちましょう。
- 大変頭を使って考える授業になると思います。わからなければわからないことを素直に認め、他者と対話したり、協力したりしましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	3単位
		学年等	第2学年・人文社会系

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	『詳説世界史』(山川出版社) 『グローバルワイド最新世界史図表』(第一学習社)、『新世界史研究ノート標準』(啓隆社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、現代的な諸課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、興味・関心をもつ。
評価点	280点	280点	280点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[第I部 諸地域の歴史的特質と形成] 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析
		140点	140点	140点
後期	第5章 イスラーム教とヨーロッパ世界の形成 [第II部 諸地域の交流・再編] 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析
		140点	140点	140点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質	8
	5	1節 文明の誕生 2節 古代オリエント文明とその周辺 3節 南アジアの古代文明 4節 中国の古代文明 5節 南北アメリカ文明	9
	6	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1節 中央ユーラシア-草原とオアシスの世界 2節 秦・漢帝国 3節 中国の動乱と変容 4節 東アジア文化圏の形成	10
	7	◆----- 第1回考査 探究活動1	
	7	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	5
	8	1節 仏教の成立と南アジアの統一国家 2節 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3節 東南アジア世界の形成と展開	3
	9	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1節 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2節 ギリシア人の都市国家 3節 ローマと地中海支配 4節 キリスト教の成立と発展	16
		◆----- 第2回考査	
	後期	10	第5章 イスラーム教とヨーロッパ世界の形成 1節 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2節 ヨーロッパ世界の形成
		探究活動2	
11		〔第Ⅱ部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	15
		1節 イスラーム教の諸地域への伝播 2節 西アジアの動向	
12		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1節 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2節 東ヨーロッパ世界の展開 3節 西ヨーロッパ世界の変容 4節 西ヨーロッパの中世文化	7
		◆----- 第3回考査	
1		第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	13
2	1節 アジア諸地域の自立化と宋 2節 モンゴルの大帝国		
3	◆----- 第4回考査	14	

5 その他

- 世界史探究の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めます。
- 授業ごとに問いを立て、自分なりの答えをまとめてもらいます。
- ただ暗記をすることだけが世界史の授業ではありません。諸資料から読み取った内容を踏まえ、自分の考えをもつことを大切にしましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	教科書:『高等学校 新地理総合』(帝国書院) 地図帳:『詳解現代地図 最新版』(二宮書店) 副教材:『新編フォトグラフィア地理図説』(東京法令出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、特色を読み取り図表などさまざまなまとめ方を身につける。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、生活している土地に対する関心をもつ。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第1部 地図でとらえる現代世界〕 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結びつきを深める現代世界 〔第2部 国際理解と国際協力〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の地形、世界の気候 〔第3部 持続可能な地域づくりと私たち〕 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析
		100点	100点	100点

後期	〔第2部(つづき)〕 第2章 地球的課題と国際協力 …地球環境問題、食糧問題 …資源・エネルギー問題、人口問題	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物	・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析
	〔第2部(つづき)〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の産業、 …世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活	・ワークシートの記述分析	・ワークシートの記述分析	
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1部 地図でとらえる現代世界〕 第1章 地図と地理情報システム	5
	5	第2章 結びつきを深める現代世界 探究活動:地図の利用	5
	6	〔第2部 国際理解と国際協力〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の地形 探究活動:地形図の読図	3
		第1回考査	5
	7	…日本の地形と気候	7
	8	…世界の気候	2
	9		5
		〔第3部 持続可能な地域づくりと私たち〕 第1章 自然環境と防災 探究活動:地図やグラフを読み取ろう 探究活動:ハザードマップの見方	2
		第2回考査	
後期		〔第2部(つづき)〕 第2章 地球的課題と国際協力 …地球環境問題、食糧問題 探究活動:統計資料を読み取ろう	2
	10		8
	11		8
		第3回考査	
	12	第2章 地球的課題と国際協力 …資源・エネルギー問題 探究活動:統計資料を読み取ろう	5
	1	…人口問題 探究活動:統計資料を読み取ろう	6
	2	第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の産業、世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 探究活動:日本と世界のつながり	7
3	第4回考査		

5 その他

- ・ 授業中に図版や資料の読み取りをします。また、作図作業をするので、色鉛筆または3～4色のラインマーカーやサインペンを用意してください。
- ・ 授業内容の関連性を考慮したため、授業における単元の順番は教科書の章立ての順とは少し異なっています。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	2 単位
		学年等	2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の社会における諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、グラフ、表、ニュース記事などの諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	教科書:『高等学校 改訂版 公共』(第一学習社) 副教材:『フォーラム公共 2026』(とうほう)、『公共ノート』(第一学習社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の社会における諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、グラフ、表、ニュース記事などの諸資料から、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題に関心を持ち、その諸課題を、現代社会に生きる人間かつ公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、主体的に解決しようとしている。
評価点	280点	280点	280点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としての在り方 第3章 公共的な空間における基本的原理 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 第2章 法の働きと私たち	・定期考査	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析 ・ニュースプリントの記録内容 ・提出物
	評価点	140点	140点	140点
後期	第3章 経済社会で生きる私たち 第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	・定期考査	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析 ・ニュースプリントの記録内容 ・提出物
	評価点	140点	140点	140点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4月	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	4
	5月	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理 第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 探求活動1:哲学者レポート作成およびレポート発表	7
	6月	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 【第1回考査】	7
	7月	5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論 夏課題:自由探究課題 税に関する作文、ジュニア・ロースクール参加など	6
	8月		4
	9月	第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割を追究しよう テーマ2 市民生活と私法 テーマ3 国民の司法参加 探求活動2:模擬裁判をやってみよう 【第2回考査】	6
後期	10月	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 テーマ2 市場経済における金融の働き テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	9
	11月	第4章 私たちの職業生活 テーマ1 働くことの意義と職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 探求活動3:第3章、第4章で学んだことをもとに経済社会の課題を考えてみよう 【第3回考査】	9
	12月	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ	6
	1月	テーマ2 国際社会と平和主義	
	2月	テーマ3 国際平和への課題	6
	3月	テーマ4 グローバル化する国際経済 探求活動4:国際社会の課題を考えてみよう 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために 【第4回考査】	4 2

5.その他

○公共の授業では、皆さんの暮らす社会の身近な話題を取り上げ、掘り下げていきます。日々の生活の中で、新聞記事を読む、ニュース番組などを視る、夏の自由課題に積極的に取り組むなどの探求の姿勢を大切にしてください。

○授業の中では、周りとの意見交換、ディスカッション、レポート発表といった活動を多く取り入れます。授業には主体的に参加してください。

○1年間の公共の授業を通して、皆さんの暮らす社会をグラフ、表、新聞記事、映像、周りの意見などから改めて見つめ直してみてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学B・数学C (自然科学探究コース)	単位数	2+1+2 単位
		学年等	第2学年 自然科学探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分、数列、統計的な推測、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面の各分野について、以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟する。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 数学Ⅱ」(数研出版) 「高等学校 数学B」(数研出版) 「高等学校 数学C」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅱ+B」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅲ+C」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>数学Ⅱ 第4章 三角関数</p> <p>数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数</p> <p>数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法</p> <p>数学B 第1章 数列</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点
後期	<p>数学B 第2章 統計的な推測</p> <p>数学C 第1章 平面上のベクトル</p> <p>数学C 第2章 空間のベクトル</p> <p>数学C 第3章 複素数平面</p> <p>数学C 第4章 式と曲線</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	数学Ⅱ 第4章 三角関数	16	
	5	第1節 三角関数 第2節 加法定理	12	
	6	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数		
	7	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法と導関数 第2節 関数の値の変化	17	
		探究課題1		
		第1回考査		
	8	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第3節 積分法	15	
		数学B 第1章 数列	25	
		第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法		
探究課題2				
9		第2回考査		
後期	10	数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	18	
	11	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	27	
		探究課題3		
	12	第3回考査	15	
	1	数学C 第2章 空間のベクトル		
	2	数学C 第3章 複素数平面		20
	2	数学C 第4章 式と曲線	10	
		3		第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標
		探究課題4		
		第4回考査		

5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 思考したことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ(人文・社会探究コース)	単位数	2単位
		学年等	第2学年 人文・社会探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の各分野について、以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟する。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 数学Ⅱ」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅱ+B+C」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>数学Ⅱ 第4章 三角関数</p> <p>数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点
後期	<p>数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	数学Ⅱ 第4章 三角関数	18
	5	第1節 三角関数	
	6	第2節 加法定理	
		第1回考査	
		探究課題1	
後期	7	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数	16
	8	第1節 指数関数 第2節 対数関数	
	9	第2回考査	
		探究課題2	
後期	10	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法	18
		第1節 微分法と導関数	
	11	第2節 関数の値の変化	
	12	第3回考査	
		探究課題3	
後期	1	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法	18
	2	第3節 積分法	
	3	第4回考査	
		探究課題4	

5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 考えたことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 B(人文・社会探究コース)	単位数	2 単位
		学年等	第 2 学年 人文・社会探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数列, 統計的な推測の各分野について,以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟する。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	「高等学校 数学 B」(数研出版)「クリアー 数学Ⅱ + B + C」(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100 点	100 点	100 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	数学 B 第 1 章 数列	定期考査 単元確認テスト 提出物等	定期考査 単元確認テスト 提出物等	探究学習 学習の振り返り 提出物等
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	数学 B 第 2 章 統計的な推測	定期考査 単元確認テスト 提出物等	定期考査 単元確認テスト 提出物等	探究学習 学習の振り返り 提出物等
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	数学B 第1章 数列	18
	5	第1節 等差数列と等比数列	
	6	第2節 いろいろな数列	
		第1回考査	
		探究課題1	
	7	数学B 第1章 数列	16
	8	第3節 漸化式と数学的帰納法	
	9	第2回考査	
		探究課題2	
後期	10	数学B 第2章 統計的な推測	18
		第1節 確率分布	
	11	第3回考査	
	12	探究課題3	
	1	数学B 第2章 統計的な推測	18
	2	第2節 統計的な推測	
	3	第4回考査	
		探究課題4	

5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 思考したことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	2単位
		学年等	第2学年・自然科学探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	改訂物理基礎(東京書籍) 新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 改訂版フォトサイエンス物理図録(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第1編 物体の運動とエネルギー〕 第1章 運動の表し方 第2章 さまざまな力とそのはたらき 第3章 力学的エネルギー	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	〔第2編 さまざまな物理現象とエネルギー〕 第1章 熱			
	評価点	120点	120点	120点
後期	〔第2編 さまざまな物理現象とエネルギー〕 第1章 熱 つづき 第2章 波 第3章 電気と磁気 第4章 エネルギーとその利用	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点			

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	2単位
		学年等	第2学年・自然科学探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>第一学習社「高等学校 化学」(化学 708)</p> <p>第一学習社「2026セミナー化学基礎+化学」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	〔第Ⅰ章 物質の状態〕 第1節 物質の状態変化 第2節 気体の性質 第3節 固体の構造 第4節 溶液の性質	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点
後期	〔第Ⅱ章 物質の変化と平衡〕 第1節 化学反応と熱・光 第2節 電池・電気分解 第3節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡 第5節 電離平衡	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第Ⅰ章 物質の状態〕 第1節 物質の状態変化 ①物質の三態とその変化 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線	5
	5	第2節 気体の性質 ①気体の法則 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体	7
	6	第3節 固体の構造 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質 第1回考査	6
	7	第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質	10
	8	②希薄溶液の性質	
	9	③コロイド	
		〔第Ⅱ章 物質の変化と平衡〕 第1節 化学反応と熱・光 ①化学反応とエンタルピー変化 ②ヘスの法則 第2回考査	6
後期	10	③結合エネルギー ④化学反応と光 ⑤エントロピー	4
	11	第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 ③電気分解の応用	8
		第3節 化学反応の速さ ①反応速度 ②化学反応の速さと濃度 ③化学反応の速さと温度 ④触媒 第3回考査	6
	12	第4節 化学平衡 ①可逆反応と化学平衡 ②平衡定数 ③平衡移動	8
	1	第5節 電離平衡 ①電離平衡と電離定数 ②電離定数とpH	10
		2	
3		⑤溶解度積 第4回考査	

5 その他

- 化学の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。
- 探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>数研出版「改訂版 高等学校 生物基礎」</p> <p>数研出版「三訂版 リードα生物基礎」</p> <p>数研出版「フォトサイエンス生物図録(改訂版)」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようしたり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようしたりしている。
評価点	220点	220点	220点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1章 生物の特徴	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポートや振り返り等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振り返り等の記述分析
	第2章 遺伝子とのはたらき			
	第3章 ヒトの体内環境の維持			
	評価点	110点	110点	110点
後期	第3章 ヒトの体内環境の維持つづき	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポートや振り返り等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振り返り等の記述分析
	第4章 生物の多様性と生態系			
	評価点	110点	110点	110点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	〔第1章 生物の特徴〕 第1節 生物の多様性と共通性	4
	5	第2節 エネルギーの代謝 第3節 呼吸と光合成	7
	6	〔第2章 遺伝子とそのはたらき〕 第1節 遺伝情報と DNA 第1回考査	7
	7	第2節 遺伝情報の複製と分配	5
	8	第3節 遺伝情報の発現	2
	9	〔第3章 ヒトの体内環境の維持〕 第1節 体内での情報伝達と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 第2回考査	6 3
	10	第3節 免疫のはたらき	10
	11		
	12	〔第4章 生物の多様性と生態系〕 第1節 植生と遷移 第3回考査	8
後期	1	第2節 植生の分布とバイオーム	6
	2	第3節 生態系と生物の多様性	6
	3	第4節 生態系のバランスと保全 第4回考査	6

5 その他

- 生物基礎の授業では自分の考えをしっかりとった上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めます。
- 学習課題や振り返りの提出は、指定された書面もしくは Classroom 内で行います。
- 探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	第2学年・人文社会探究コース

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>自然的な事物・現象に関わり、科学の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。</p> <p>(1) 地球を題材にして論理的に思考する習慣、力をつける。</p> <p>(2) 自然に対する洞察力を深め、正しい自然観・地球観を養う。</p> <p>(3) 自然と人間の共存に向けて実践し、生き抜く力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>啓林館「高等学校 地学基礎(改訂版)」(地基901)</p> <p>河合出版「マーク式基礎問題集地学基礎(改訂版)」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>〔第1部 地球の構造と活動〕</p> <p>第1章 地球の構造</p> <p>第2章 活動する地球</p> <p>〔第2部 大気と海洋〕</p> <p>第1章 大気 of 構造</p> <p>第2章 太陽放射と大気・海水の運動</p> <p>第3章 日本の天気</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>	<p>・学習課題等</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>
	評価点			
後期	<p>〔第3部 移り変わる地球〕</p> <p>第1章 宇宙と地球</p> <p>第2章 地球史の読み方</p> <p>第3章 地球と生命の進化</p> <p>〔第4部 自然との共生〕</p> <p>地球環境と私たち・地震災害・火山災害</p> <p>気象災害・災害と社会・地球環境の変化</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>	<p>・定期考査等</p> <p>・授業中の行動観察</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>	<p>・学習課題等</p> <p>・観察レポート等の記述分析</p>
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	【第1章 地球の構造】 ① 地球の概観 固体地球の形について理解する。 ② 地球の内部構造 地殻・マントル・核の構造について理解する。	10
	5	【第2章 活動する地球】 ③ プレートテクトニクス プレートとその境界について理解する。 ④ 地震 プレートの動きと地震の発生メカニズムについて理解する。	8
	6	⑤ 火山活動と火成岩の形成 火成岩と造岩鉱物のつながりとその分類を学ぶ。 ⑥ 火山活動と噴出物、噴火の形式、火成岩の産状について理解する。 第1回考査 ◆-----	8
	7	【第1章 大気の構造】 ① 地球の熱収支 大気の組成や大気圏の層構造について理解し、太陽放射エネルギーとエネルギー収支、大気に働く力と風の移動のしくみを理解する。	8
	8	② 大気と海水の運動 海水と海洋の層構造、海流、深層の流れについて理解する。	
	9	③ 日本の天気 日本の冬・春・夏・秋の気象の特徴について理解する。 第2回考査 ◆-----	
	10	【第3章 移り変わる地球】 ①宇宙の誕生 銀河系の構造とまわりの銀河、銀河の分布について学び、宇宙の構造を理解する。	9
	11	②太陽系の誕生 太陽系の姿、惑星の特徴、太陽系の小天体、その誕生について理解する。太陽の概観、太陽の活動とエネルギー、太陽の誕生と進化について理解する。 ③ 地球史の読み方 地層の形成 地層の読み方 地質年代の区分 第3回考査 ◆-----	9
	12	【第4章 地球と生命の進化】 ①地質時代の区分 地球の誕生から顕生代にかけての生物史の移り変わりを理解する。 ②地球史の読み方 堆積岩とその分類を理解する。地層・整合・不整合・地質構造について理解する。	10
後期	1	【第5章 自然との共生】 ①地球環境と私たち 人間が未来の地球とうまくつきあっていくために、自然環境のしくみや環境と人間のつながりについて学ぶ。	8
	2	②日本の自然 日本の自然環境の特徴について理解し地震・火山・土砂・気象などの自然災害について学習する。	
	3	◆----- 第4回考査(学年末考査)	
		◆-----	

5 その他

<p>○ 地学の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、グループ学習やグループ発表を通して学びを深めていきます。</p> <p>○ 探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。</p> <p>○ 授業を大切に自主的に学習に取り組みましょう。</p> <p>目標を持ち集中して授業を受け、知識を定着させ、実験や観察で技能を磨きましょう。</p> <p>○ 自然を科学する基本的な姿勢を学ぼう。</p> <p>地球科学には身の周りに関する事象が数多くあります。日頃から疑問を持ち興味関心を持って自然と接するように心がけましょう。</p> <p>○ 定期テストの準備は計画的に行いましょう。</p>
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2 単位
		学年等	第 2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1)運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、他者の尊重などの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店) ステップアップ高校スポーツ2025(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、体力の必要性等について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画などの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	体づくり運動 選択Ⅰ：球技(ソフトボール・バドミントン)・ダンス(フォークダンス) ダンス(フォークダンス)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
	評価点	130点	130点	130点
後期	体づくり運動(縄跳び) 陸上競技(長距離走) 体育理論 ダンス(フォークダンス) 選択Ⅱ：球技(バスケットボール・サッカー・卓球)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
	評価点	120点	120点	120点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容			時数	
		男女共修				
前期	4	領域【体づくり運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、などを理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。			34	
	5	選択Ⅰ【ソフトボール バドミントン ダンス】				
	6	領域【球技(ソフトボール)】 ・状況に応じたバット操作や走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	領域【球技(バドミントン)】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	領域【ダンス(フォークダンス)】 ・表したいテーマにふさわしいイメージを組み合わせ、ステップや動きをなどの特有な動きを捉え、音楽に合わせてみんなで踊って交流を楽しむことができる。 ・自己や仲間の課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。		
	7	領域【ダンス(フォークダンス)】				
	8	・表したいテーマにふさわしいイメージを組み合わせ、ステップや動きをなどの特有な動きを捉え、音楽に合わせてみんなで踊って交流を楽しむことができる。				
	9	・自己やチームの課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。				
	10	領域【体育理論】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。				36
	11	領域【陸上競技(長距離走)】・【体づくり運動(縄跳び)】 ・自己に適したペースを理解し、ペースの変化に対応して走ることができる。 ・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。				
	12	選択Ⅱ【バスケットボール サッカー 卓球】				
1	領域【球技(バスケットボール)】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	領域【球技(サッカー)】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	領域【球技(卓球)】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。			
2	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。			
3	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。			

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1 単位
		学年等	第 2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店) 現代高等保健体育ノート(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	【第3単元 生涯を通じる健康】 01～10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートや振り返りの記述分析 ・グループワークでの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートや振り返りの記述分析 ・グループワークでの記述分析・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・自主学習・振り返りの記述分析
	【第4単元 健康を支える環境づくり】 01～02			
後期	【第4単元 健康を支える環境づくり】 03～11	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートや振り返りの記述分析 ・グループワークでの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートや振り返りの記述分析 ・グループワークでの記述分析・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・自主学習・振り返りの記述分析
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	【第3単元 生涯を通じる健康】 01ライフステージと健康 02思春期と健康	17	
	5	03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康 05避妊法と人工妊娠中絶		探究活動①;性教育について考える 探究活動②;正しい避妊法について考える
	6	06結婚生活と健康 07中更年期と健康 08働くことと健康 <第1回考査>		
	7	09労働災害と健康 10健康的な職業生活		探究活動③;仕事を健康の視点から考える
	8	【第4単元 健康を支える環境づくり】 01大気汚染と健康		
	9	02水質汚濁、土壌汚染と健康 <第2回考査>		探究活動④;過去の公害を振り返ってみよう
	10	03環境と健康にかかわる対策 04ごみの処理と上下水道の整備		探究活動⑤;海洋プラスチックごみについて考える
	11	05食品の安全性 06食品衛生に係る活動		探究活動⑥;健康食品などの広告を分析してみよう 探究活動⑦;栄養素や食品ブームについて考える
	12	<第3回考査>		
後期	1	07保健サービスとその活用 08医療サービスとその活用 09医薬品の制度とその活用	探究活動⑧;医療機関のかかり方について考える 探究活動⑨;サリドマイド薬害に学ぶ	
	2	10様々な保健活動や社会対策 11健康に関する環境づくりと社会参加	探究活動⑩;健康情報を正しく判断するために 必要なことを考える 探究活動⑪;健康政策について考える	
	3	<第4回考査>		

5 その他

- 生涯に通じる健康について、ペア学習やグループ学習を通して、自分の考え方や社会の課題発見・解決の学びを深めていきます。
- 健康を支える環境づくりについて自己の考えをまとめ、他者と協同して課題解決に向けた取り組みを模索できる力を身に付けていきます。
- 学習課題や振り返りの提出は原則 ICT 機器を利用し、classroom 上で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション II	単位数	4単位
		学年等	2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>FLEX ENGLISH COMMUNICATION II (増進堂) 改訂版 必携英単語 LEAP (数研出版) Real-Life Listening2 (旺文社) 英語長文演習 アプローチ<3 訂版> vol.2 (美誠社) 英語長文演習 アプローチ<3 訂版> vol.3 (美誠社) 英語長文演習 アプローチ<3 訂版> vol.4 (美誠社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述
	Lesson 2			
	Lesson 3			
	Lesson 4			
	Lesson 5			
	評価点	200点	200点	200点
後期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述
	Lesson 7			
	Lesson 8			
	Lesson 9			
	Lesson 10			
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前 期	4	Lesson 1: Anime Pilgrimages ①アニメ聖地巡礼と地域に与える影響を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「受け身の不定詞」「受け身の進行形」の用法を理解し、それらを用いて表現する。	11	
	5	Lesson 2: Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams ①岩谷圭介氏のふうせん宇宙撮影について理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「助動詞+完了形」「受け身の完了形」の用法を理解し、それらを用いて表現する。	12	
	6	Lesson 3: The Surprising History of Salt ①塩の歴史的な役割を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「If 節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第1回考査	13	
	7	Lesson 4: A Future World, with or without Sea Turtles ①ウミガメの生態と環境保全のために私たちがすべきこと理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「as if を用いた仮定法」「疑問詞+to do」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 5: The Psychology of Waiting in Line ①長い列に並んで待つときの人間の心理について理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第2回考査	16	
	8		20	
	9		20	
	後 期	10	Lesson 6: The Human Library ①ヒューマンライブラリーのエピソードと共生社会を実現するために私たちがすべきことを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「否定の分詞構文」「完了形の不定詞」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 7: More Than Just Shelters ①坂茂氏の被災地での慈善活動と若者へのメッセージを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「部分否定」「If S' were to V'、S would V …」の用法を理解し、それらを用いて表現する。	10
		11	Lesson 8: Infectious Diseases and Humans ①ウイルスの実態と感染症の歴史を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第3回考査	11
		12	11	
1		Lesson 9: Fashion for Pride ①コンゴ共和国の実態とサプールの考えを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「倒置」「完了形の分詞構文」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 10: Larry Page and the Dream of Google ①Google 誕生秘話と夢を叶えるために大切なことについて理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「複合関係代名詞」「二重否定(肯定の意味を表す)」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第4回考査	21	
	2	15		
	3			

5 その他

英語コミュニケーションⅡでは、1年次の英語コミュニケーションⅠで身につけた英語の4技能をさらに伸ばしていきます。取り組む英文のレベルも高くなり、より多くの語彙を習得していきます。加えて、各学期にパフォーマンステストを実施していく予定です。皆さんに英語を活用する力が少しでもつくようお互いに頑張ってください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 II	単位数	2単位
		学年等	2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>be English Logic and Expression II Clear(いっずな書店)</p> <p>be English Logic and Expression II Clear ワークブック(いっずな書店)</p> <p>スクランブル英文法・語法 5th Edition(旺文社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述
		200点	200点	200点
後期	Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述

		200点	200点	200点
--	--	------	------	------

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4月	Lesson 1 Your Interests 【題材】 趣味・クラブ活動 【題材に関するタスク】 ・趣味やクラブ活動に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・趣味やクラブ活動について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・動詞の時制について学んで理解する。 ・時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。	6
	5月	Lesson 2 Your Daily Life 【題材】 日常生活 【題材に関するタスク】 ・日常生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日常生活について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞(名詞用法)・動名詞・名詞節について学んで理解する。 ・伝えたいことに応じて, 不定詞・動名詞・名詞節を正しく使う。 Lesson 3 Your School Life 【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・学校生活について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・助動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 助動詞を正しく使う。	7
	6月	Lesson 4 Media Literacy 【題材】 ソーシャルメディア 【題材に関するタスク】 ・ソーシャルメディアに関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ソーシャルメディアについて話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・形容詞のはたらきや分詞の形容詞用法について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 適切な形容詞を用いて文を作る。	7

第1回考査

	7月	<p>Lesson 5 Helping Others 【題材】 ボランティア活動 【題材に関するタスク】 ・ボランティア活動についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・ボランティア活動について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな表現を使った形容詞句について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 適切な形容詞句を用いて文を作る。</p> <p>Lesson 6 Introducing Your Town 【題材】 自分の住む町や地域 【題材に関するタスク】 ・自分の住む町や地域についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・自分の住む町や地域について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。 ・関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。</p>	7
	8月 9月	<p>Lesson 7 Languages of the World【題材】 世界の言語 【題材に関するタスク】 ・世界の言語についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の言語について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・副詞のはたらきについて学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 適切な副詞を用いて文を作る。</p> <p>Lesson 8 Imagining the Future 【題材】 想像 【題材に関するタスク】 ・想像についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・想像について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・不定詞(副詞用法)・分詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて不定詞・分詞を正しく使う。</p> <p style="text-align: right;">第2回考査</p>	8
後期	10月	<p>Lesson 9 Happiness and Stress 【題材】 幸福・ストレス 【題材に関するタスク】 ・幸福・ストレスについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・幸福・ストレスについて話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・さまざまな意味を表す副詞節について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。</p> <p>Lesson 10 Comparing Countries 【題材】 データの比較 【題材に関するタスク】 ・各国のデータ比較についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・各国のデータ比較について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・原級・比較級・最上級を使う比較について学んで理解する。</p>	8

		・原級・比較級・最上級を用いて文を作る。	
11月	Lesson 11 Cultural Diversity 【題材】 文化の多様性 【題材に関するタスク】 ・文化の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・文化の多様性について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・仮定法について学んで理解する。 ・仮定法の表現を用いて文を作る。 Lesson 12 Japanese Customs 【題材】 日本の文化 【題材に関するタスク】 ・日本の文化についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・日本の文化について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・要求や必要, 認識を表す表現・時制の一致・話法について学び理解する。 ・要求や必要, 認識を表す表現・時制の一致・話法を用いて文を作る。	7	
12月	Lesson 13 Population Issues 【題材】 人口問題 【題材に関するタスク】 ・人口問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・人口問題について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・存在や変化の表現について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 存在や変化, 「～がかかる」という表現を正しく用いて文を作る。 第3回考査	7	
1月	Lesson 14 Rights and Equality 【題材】 権利と平等 【題材に関するタスク】 ・権利と平等についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・権利と平等について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・使役動詞・知覚動詞について学んで理解する。 ・伝えたい意味に応じて, 使役動詞・知覚動詞を用いて文を作る。	7	
2月 3月	Lesson 15 Think Globally, Act Locally【題材】 世界の問題 【題材に関するタスク】 ・世界の問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ・世界の問題について話したり, 文章を書いたりする。 【文法】 ・日本語とは違う英語らしい表現について学んで理解する。 ・無生物主語や受動態を使う表現を用いて文を作る。 第4回考査	6	

5 その他

英語で適切にコミュニケーションを取れるようになるためには、英語独特の文構造や文法の決まりを知っておくこと、また内容に関連した単語や表現を身につけることが必要です。ルールを知り、様々な表現方法を知った上で正確な発音を身につけようとする態度で何度も音読を繰り返すとともに、ある程度まとまりのある文章を書いたり即興でスピーチしたりする練習を繰り返しましょう。

令和8年度 グローカル探究(総合的な探究の時間) 年間指導計画

広島市立 美鈴が丘高等学校 全日制 課程

実施学年(2)年

<p>学校において定める 目 標</p>	<p>3年間の系統的な探究活動を通じて、変化の激しい社会の中に課題を見だし、その課題について「自分ごと」化して自ら学び、思考・判断し、問題をよりよく解決しようとする資質や能力を育てる。</p> <p>(1)教科横断的な探究の「型」を学ぶことを通じて、課題の発見と、解決に必要な知識および技能を身につける。</p> <p>(2)社会と自分とのつながりの中から課題を発見し、解決のプロセスを思考・判断したうえで、その分析を他者にわかりやすく伝えるための表現力を身につける。</p> <p>(3)他者との協働的な活動を通じて、主体的に学ぼうとする姿勢やよりよい社会を実現しようとする態度や人間性を身につける。</p>
<p>内 容</p> <p>探 究 課 題</p> <p>育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力</p>	<p>・個人探究プロジェクト ・グループ探究プロジェクト</p> <p>(1)複数の情報を俯瞰し、横断的に組み合わせることで深まりをもたせ、より深い学びにつなげていく能力</p> <p>(2)自らの興味関心をもとに課題意識をもち、フィールドワーク等を通して実践的に問題を解決する能力</p> <p>(3)学習成果を他者にわかりやすく伝え、生きて働く知識として自己の中に形成する能力</p>
<p>付 与 す る 単 位 数</p>	<p>4単位</p>
<p>授 業 時 数 の 配 当 方 法</p>	<p>1年間を通じて均等に時間を配分する。フィールドワークに要した時間は総合的な探究の時間に加える。</p>
<p>学 習 活 動</p>	<p>個人探究を中核に据え、情報収集と資料作成、発表を組み合わせる学習活動を行う。また、一部はグループ探究プロジェクトにも参加し、学校としての継続したグループ探究プロジェクトを作り上げる。</p>
<p>教 材 の 使 用 等</p>	<p>・探究教材「Inspire High」を用いる。 ・校内で作成したワークシートやタブレット端末等を用いる。</p>

指導方法・指導体制	・指導原案は教育研究部が作成し、そのうえで担任・副担任を問わず学年教員で指導にあたる。 ・教育研究部のほか、教務部、進路指導部などの関係部署で連携して指導にあたる。
評価規準・評価方法	・個人、グループで作成した成果物を発表し、評価する。 ・ルーブリック等による学習に対する振り返りを通じて、学習過程における能力や態度の伸長を評価する。

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習活動(場所)	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等
	4月	導入・基盤づくり	探究の土台となる自己理解と社会課題への意識を高める時期である。 オリエンテーション: 探究の進め方についての説明。 セッション(自己理解・社会問題・キャリア): 動画視聴等を通じ、自分自身や社会問題への理解を深める。	36	各 HR 教室 講堂	○オリエンテーションにおいて「個人探究」や「グループ探究プロジェクト」の目標や活動内容、フィールドワークの行き方等を理解する。
	5月	問いの設定と深化	自らの探究テーマを決定し、内容を深めていく時期である。 プロジェクト「問いを見つける」: 自分が探究したい「問い」を設定し、自己との関連性を考える。 志望理由書①: 設定した問いと自分自身のつながりを言語化する。 志望理由書②・③: 探究と進路(大学・専門学校)のつながりや、活動の手法・気づきをまとめる。		各 HR 教室 講堂	○自らの興味関心に基づき探究担当を決定し、テーマやリサーチクエストとそれに対する仮説を立て、情報収集を行う。 ○この時期から、進路指導部と連携し、探究活動を活かして志望理由書作成にあたる。
	6月		教科横断授業: 他教科の知識を統合して探究に活かす。 平和探究: 平和ノートを活用し、平和学習を行う。		各 HR 教室 講堂	
	7月				各 HR 教室 講堂	
	8月 9月	実践	設定した問いに対し、具体的な調査や活動を行う最も長いフェーズである。(8月~12月) プロジェクト「行動する」: 実際に調査や活動を行い、探究を推進する。	32	各 HR 教室 講堂 インドネシア・バリ	○フィールドワーク等を積極的に実施して情報を収集し、実験や検証を繰り返し、情報を適切に整理し分析する。

10月 11月 12月		(実践報告の設定期限→志望理由書②・③) 修学旅行との連動と学びの言語化(10月～12月) 修学旅行(海外・国内)を単なる行事ではなく、探究の実践・深化の場として活用する。 修学旅行の実施: 10月下旬に海外、12月上旬に国内(沖縄)の修学旅行を実施する。その中で現地校交流等で自身の探究について発表する。 学びの言語化: 旅行後の事後学習として、現地での体験や学びを言葉にする。 合同発表会: 国内外それぞれの修学旅行での学びを共有する。	36	オーストラリア・ケアンズ 日本・沖縄 各フィールドワーク先	○自分の住んでいる広島市と海外の地を多角的に比較・検討しながら自文化と異文化への理解を深める。 ○国内、海外それぞれで学んだことを校内で発表し、対話を重ねることでグローバルな視点を取得する。		
		1月		まとめ発表	36	各HR教室 講堂 各フィールドワーク先	○探究中間発表を、学年内で実施する。 ○探究中間発表会をふまえ、リサーチクエスションの練り直しやブラッシュアップをさせる。 ○探究発表会を開催し、他学年の生徒に向けて発表の場を設ける
		2月					
3月	振り返り	1年間の活動を振り返り、3年次への探究目標を立てる。		各HR教室			
備考	○全員にファイルを持たせ、全ての資料を保管させるとともに、クラウド上に活動記録を残させる。 ○「ふりかえり」の時間を設定し、探究活動の記録を生徒自身にとらせる。						